都立国際高校　年間授業計画／Tokyo Metropolitan Kokusai High School　Course Syllabus

○ 科目基礎情報 (Course information)

開講年度	(Academic year)	令和7年度 (2025 年度)
開講学科	(Department)	国際学科／Course of International Studies
教科	(Subject Area)	国際理解
科目	(Subject)	国際地理
担当者	(Subject Teacher)	森・渡部・吉田
学年・クラス	(Grade・Class)	1年全クラス
単位数	(Number of units)	2
使用教科書	(Text Books)	高校生の地理総合（帝国書院）、新詳高等地図（帝国書院）

○ 教科の目標 (Goals of the subject area)

【知識及び技能】 (Knowledge and Skills)
現代世界の生活文化の多様性や地球的課題への取組みの理解や各種資料の分析・活用や調査・研究・討論・発表などアクティブラーニングを通して、主体的な学習態度を養い、情報活用能力、技能表現能力を培う。

【思考力、判断力、表現力等】 (Ability to think, make judgements, express themselves)
現代世界の諸地域・諸文化の多様性について、比較や関連づけを通して各地域が持つそれぞれの特徴を多面的・多角的にとらえる考え方を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】 (Motivation to learn, Humanity)
国際社会の一員として、それぞれの国・地域・民族の持つ生活・文化を尊重し、そこから学ぶ態度を養い、人類共有の国際社会を築いていく意識を持つ。

○ 科目の目標 (Goals of the subject)

【知識及び技能】 (Knowledge and Skills)	【思考力、判断力、表現力等】 (Ability to think, make judgements, express themselves)	【学びに向かう力、人間性等】 (Motivation to learn, Humanity)
現代世界の生活文化の多様性や地球的課題への取組などを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，資料の分析・活用や調査・研究・討論・発表などアクティブラーニングを通して、主体的な学習態度を養い、情報活用能力、技能表現能力を培う。	国際地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される人類共有の国際社会を築いていく意識を持つ。

○ 授業計画 (Course schedule)

	単元の具体的な指導目標 Unit Objectives	指導項目・内容 Topic / Contents	評価規準 Evaluation Criteria	知 ❶	思 ❷	態 ❸	配当時数 Alotted hours
1学期 (1st semester)	◆国際理解の考え方について、世界の諸地域の生活・文化は自然環境や歴史などさまざまな要因から形成されるものであり、その価値を評価・批判することは不可能であることを取り上げる。 ◆メンタルマップを作製することで自分の世界観を確認するとともに、他者のものと比較することでさまざまな世界観、イメージがあることを認識する。	国際地理オリエンテーション メンタルマップ作製 ・教科書、資料集（通年） ・一人１台端末の活用（通年）	❶【知識・技能】 国際理解の考え方を理解する。メンタルマップを通して現在の自分が認識している世界を理解する。 ❷【思考・判断・表現】 他者との比較により自分の世界観を多面的に分析する。 ❸【主体的に学習に取り組む態度】 自分の認識する世界地図を通して、１年間の学習の課題を見つけ、主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	2
	◆地球のプロフィールを知る ◆緯度の違いは，私たちの生活にどのような影響を与えているか理解する ◆地球儀，メルカトル，正距方位，サンソン，モルワイデ，グード図法に関して理解し、平面と球体を比較しながら特徴を考察する ◆地理情報システム(GIS)のメカニズムを理解し、活用しながらその特徴を体験する	地球上の位置と私たちの生活 さまざまな世界地図 ＧＩＳとは？	❶日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に，地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 現代世界のさまざまな地理情報について，地図や地理情報システムなどを用いて，その情報を収集し，読み取り，まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 ❷地図や地理情報システムについて，位置や範囲，縮尺などに着目して，目的や用途，内容，適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ❸地図や地理情報システムについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	6
	◆国家の領域と国境がどのように定められ、それぞれの国家の位置と領域にはどのような特徴があるのかを理解する。	国家の領域と国境	❶国家の領域と国境について地図を通して読み取り、理解している。 ❷国家が抱える国境や領域に関する課題について、多面的・多角的に考察し，表現している。 ❸国家の領域と国境について、自らテーマを設定して主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	2
	◆グローバル化の世の中で、国家間がどのように結びついているのかを理解する。 ◆戦後、経済のグローバル化がどのように進展し、各国で経済的なつながりがどのように結ばれているのかを理解する。	グローバル化と多様な結びつき	❶現代世界が抱える課題や国家間の結びつきの変化について地図を通して読み取り、理解している。 ❷現代世界が抱える問題や国家間の課題について、多面的・多角的に考察し，表現している。 ❸現代世界が抱える問題や国家間の課題について、主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	2
	◆地図を通して世界の貿易の特徴や、先進国・発展途上国との関係を理解する。 ◆交通の発達によって、時間距離がどのように変化し、現代の人・モノ・情報の移動がどのようになっているのかを理解する。	拡大する貿易 交通・通信・観光	❶世界の貿易・交通・観光について、地図を通して読み取り、人・モノ・情報の流れを理解している。 ❷世界の人・モノ・情報の移動について、多面的・多角的に考察し，表現している。 ❸世界が抱える経済的な課題について、主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	2

単元の具体的な指導目標 Unit Objectives	指導項目・内容 Topic / Contents	評価規準 Evaluation Criteria	知 ❶	思 ❷	態 ❸	配当 時数
◆自分が興味を持った世界の諸地域における生活文化について日本など他の地域と比較しながらその特徴をレポートにまとめる。	比較地誌（生活文化・社会システム・自然環境）	❶世界の人々の特色ある生活文化を基に，人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり，影響を与えたりして多様性をもつことや，地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 世界の人々の特色ある生活文化を基に，自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 ❷世界の人々の生活文化について，その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ❸生活文化の多様性と国際理解について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	2
◆地球上には，高く険しい山脈や広大な平原，深い谷などの多様な地形があることを理解する。人々はこうした地形とどのように関わり合い，世界各地ではどのような生活が営まれているか考察する。	プレート形成と大地形	❶生活の舞台となる陸地，地形をつくる営力，大地形を構成する変動帯と安定地域について理解している。 ❷生活の舞台となる陸地，地形をつくる営力，大地形を構成する変動帯と安定地域について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ❸生活の舞台となる陸地，地形をつくる営力，大地形を構成する変動帯と安定地域について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	6
◆各気候区の分布や特徴を理解する。 ◆それぞれの地域で暮らす人々の生活（衣食住）について調べ、気候要素とどのように関わり合っているのか考察し、プレゼンテーションする。	自然環境と生活文化のかかわり 世界の衣食住	❶様々な気候・植生と生活との関わりや自然環境を生かした農牧業や衣食住について理解している。 ❷様々な気候・植生と生活との関わりや自然環境を生かした農牧業や衣食住について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ❸様々な気候・植生と生活との関わりや自然環境を生かした農牧業や衣食住について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	6
定期考査（期末考査）			○	○	○	1
◆世界各地の多様な生活文化を考察するには，どのような方法があるのだろうか。	比較地誌個人プレゼンテーション（１回の授業につき２～３人、一人7分程度、10～12回程度の授業で実施）	❶生活文化を考察する方法，国際理解の重要性について理解している。 ❷生活文化を考察する方法，国際理解の重要性について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ❸生活文化を考察する方法，国際理解の重要性について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	12
◆気温や降水，風などの気候要素は場所によって異なることを理解する。 ◆人々の生活はそれぞれの気候要素とどのように関わり合っているのか考察する。 ◆世界各地ではどのような生活が営まれているのか理解する。	気候のメカニズム	❶気温のしくみと分布の特徴，降水のしくみと分布の特徴や大気大循環・恒常風、モンスーンのしくみと生活への影響についてについて理解している。 ❷気温のしくみと分布の特徴，降水のしくみと分布の特徴や大気大循環・恒常風、モンスーンのしくみと生活への影響について多面的・多角的に考察し，表現している。 ❸気温のしくみと分布の特徴，降水のしくみと分布の特徴大気大循環・恒常風、モンスーンのしくみと生活への影響についてよりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	7
定期考査（中間考査）			○	○	○	1

	単元の具体的な指導目標 Unit Objectives	指導項目・内容 Topic / Contents	評価規準 Evaluation Criteria	知 ❶	思 ❷	態 ❸	配当 時数
2学期（2nd semester）	◆東アジアが第二次世界大戦後に急速に経済成長が進んだ地域であることを理解する。 ◆中国などでは，どのような生活文化がみられ，経済成長の影響を受けて，どのように変化しているのか様々な地図や資料から考察する。 ◆東アジアの国・地域は，どのような歴史的な歩みを経て，経済成長を遂げてきたのか理解する。	国際理解追及事例（社会・歴史） （東アジアの経済発展）	❶東アジアの経済急成長の歩み，市場経済の導入で成長した中国，世界の工場から世界の市場への発展について理解している。 ❷東アジアの経済急成長の歩み，市場経済の導入で成長した中国，世界の工場から世界の市場への発展について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ❸東アジアの経済急成長の歩み，市場経済の導入で成長した中国，世界の工場から世界の市場への発展について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	7
	◆インドには，大勢のヒンドゥー教徒が暮らしていることを理解する。 ◆インドの人々の暮らしに，ヒンドゥー教はどのように関わっているのだろうか理解する。 ◆中央アジアから北アフリカにかけての地域では，イスラームを信仰する人々が多いことを理解する。 ◆この地域の生活文化は，宗教からどのような影響を受けているのか理解する。	国際理解追求事例（宗教） （南アジアと西アジアの宗教や生活文化、社会産業比較）	❶南アジアの民族と歩み，ヒンドゥー教と人々の生活への影響，多様な言語や農作物からみる食生活，巨大な人口を支える農業改革，畜産の発達と食生活の変化、ICT産業の発展，成長するインドの工業，経済成長による生活の変化について理解している。 ❷南アジアの民族と歩み，ヒンドゥー教と人々の生活への影響，多様な言語や宗教や農作物からみる食生活，巨大な人口を支える農業改革，畜産の発達と食生活の変化、ICT産業の発展，成長するインドの工業，経済成長による生活の変化について，多面的・多角的に考察し表現している。 ❸南アジアの民族と歩み，ヒンドゥー教と人々の生活への影響，多様な言語について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題や宗教や農作物からみる食生活，巨大な人口を支える農業改革，畜産の発達と食生活の変化、ICT産業の発展，成長するインドの工業，経済成長による生活の変化について主体的に追究，解決しようとしている。 ❶ムスリムの生活，三つの言語集団と生活習慣の地域差やオアシス都市で発達したイスラーム，乾燥した地域での暮らし，乾燥した地域での農業、人々の生活を豊かにした石油資源，石油収入がもたらした生活の変化についてについて理解している。 ❷ムスリムの生活，三つの言語集団と生活習慣の地域差やオアシス都市で発達したイスラーム，乾燥した地域での暮らし，乾燥した地域での農業、人々の生活を豊かにした石油資源，石油収入がもたらした生活の変化についてについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 ❸ムスリムの生活，三つの言語集団と生活習慣の地域差やオアシス都市で発達したイスラーム，乾燥した地域での暮らし，乾燥した地域での農業、人々の生活を豊かにした石油資源，石油収入がもたらした生活の変化について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査（期末考査）			○	○	○	1
3学期（3rd semester）	◆ヨーロッパで二度の世界大戦を機にEUを中心とした政治・経済の統合が進められていることを理解する。 ◆EUの統合によって，ヨーロッパの人々の生活文化はどのように変化してきたのか考察する。	国際理解追求事例（産業・歴史） （ヨーロッパの地域統合）	❶国境を自由に移動できる生活，キリスト教に根ざした文化，EU統合への歩みとその背景や地域で異なる食文化と農業，EUの共通農業政策の影響と課題、EU統合で発展した産業，移り変わる工業地域，国境を越える労働力について理解している。 ❷国境を自由に移動できる生活，キリスト教に根ざした文化，EU統合への歩みとその背景や地域で異なる食文化と農業，EUの共通農業政策の影響と課題、EU統合で発展した産業，移り変わる工業地域，国境を越える労働力にみられる課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ❸国境を自由に移動できる生活，キリスト教に根ざした文化，EU統合への歩みとその背景について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題や地域で異なる食文化と農業，EUの共通農業政策の影響と課題、EU統合で発展した産業，移り変わる工業地域，国境を越える労働力についてについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	8
	◆アメリカ合衆国で世界標準の工業製品が生み出されたり，世界の食を支える農産物が生産されたりしていることを理解する。 ◆この国の産業が人々の生活にどのような影響を与えているのか考察する。	国際理解追求事例（産業・社会）	❶移民国家としての発展，多民族国家で生まれた文化や世界標準を生み出すICT産業，産業構造の変化とサンベルトの台頭，シェール革命が世界に与えた影響、世界の穀物市場を動かす穀物メジャー，適地適作の農業と大規模農業の課題について理解している。 ❷移民国家としての発展，多民族国家で生まれた文化や世界標準を生み出すICT産業，産業構造の変化とサンベルトの台頭，シェール革命が世界に与えた影響、世界標準を生み出すICT産業，産業構造の変化とサンベルトの台頭，シェール革命が世界に与えた影響について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ❸移民国家としての発展，多民族国家で生まれた文化や世界標準を生み出すICT産業，産業構造の変化とサンベルトの台頭，シェール革命が世界に与えた影響、世界の穀物市場を動かす穀物メジャー，適地適作の農業と大規模農業の課題について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査 Examination			○	○	○	1

習熟度別多展開授業のため、習熟度に応じて指導。

総授業時数 Total hours	78